

取扱説明書



オフロードバイク用スタンド (ダンパー式)

注文コード:27261195

このたびは、オフロードバイク用スタンド(ダンパー式)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。



警告

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。



注意

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

組立時・ご使用上の注意

【はじめに】

誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、製造者および販売者は一切の補償、責任を負いません。また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

●本製品の耐荷重は最大約150kgです。耐荷重を超える車両での使用や、複数の車両を同時にリフトアップすることは絶対にしないでください。



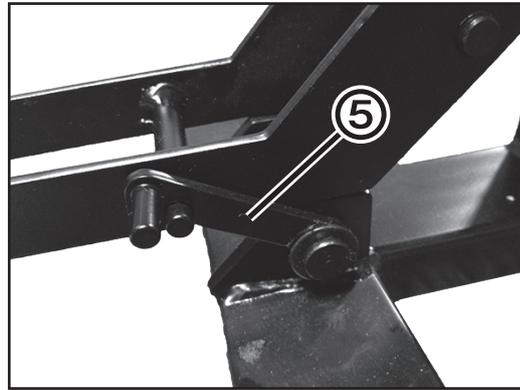
警告

- 本製品は軽量な二輪車をリフトアップすることを目的に作られています。それ以外の使用用途を想定していません。本来の使用用途以外や、乱暴な取扱い方をすると、けがや故障、破損につながるおそれがありますので絶対にしないでください。
- 二輪車保管用のスタンドではありません。車両をリフトアップした状態で長時間放置すると本製品が破損したり、車両が転倒したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 本製品を使用するときは、次のことを必ずお守りください。
 - ・使用場所は常に整理整頓し、障害になる物は置かないでください。けがをする原因になります。
 - ・可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。
 - ・車体よりバッテリー液やオイル、ガソリンなどが漏れている場合は、本製品を使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。
 - ・けがを防止するために作業手袋、作業着、安全帽、安全靴などの安全保護具を着用してください。
 - ・本製品使用の際、全身にゆとりのある衣服やネックレスなど装飾品の着用は、引っ掛ったり、巻込んだりなどして思わぬ事故やけがの原因となり危険です。また、頭髮が巻込まれないようにしてください。
 - ・可動部、摺動部に手や指を入れないでください。けがをする原因になります。
 - ・使用者以外は使用場所に近づけないでください。特にお子様にご注意ください。けがをする原因になります。
 - ・雨が降っている中や、濡れた場所では使用しないでください。転倒により、けがや破損のおそれがあります。
 - ・床に傾斜や段差のある不安定な場所では使用しないでください。転倒により、けがや破損のおそれがあります。
 - ・必ずエンジンを停止させた状態でリフトアップ・ダウンを行ってください。また、リフトアップ中もエンジンは掛けしないでください。
 - ・リフトアップ・ダウンは必ず2人以上で行い、天板と車体の間には異物を挟まないでください。車両が不安定になり転倒するおそれがあり大変危険です。
 - ・本製品の使用中は絶対に車両へ乗らないでください。また、強い衝撃を与えないでください。転倒してけがをする原因になります。
 - ・天板の前後左右いずれかに偏った位置でリフトアップすると、車両が不安定になり転倒するおそれがあり大変危険です。車体が天板の安定する位置にあることを必ず確認してリフトアップしてください。
 - ・リフトダウンするときは、車両の重量が掛かり急激に下降します。操作を誤ると車両が倒れたり、体を挟んだりするなどして大変危険です。車両をしっかりと支えながらゆっくりと操作してください。

⚠ 注意

- 使用するときは、使用場所の換気を行い、通気の良い環境で行ってください。
- 高温、直射日光下、周辺温度が40℃を超える環境での使用は避けてください。
- 本製品の使用前には必ず、各部に錆、傷、損傷がないか確認してください。
- 車両によってはサイドスタンドが天板に干渉し、使用できない場合があります。
- リフトアップするときはハンドルを必ず最後まで倒した状態になるまで操作してください。
- リフトアップしたときは車両が安定した状態で、安全に保持されていることを確認してください。
- 車体下部に泥などの汚れが付着していると、リフトアップ時に天板より滑るおそれがあります。汚れを落としてご使用ください。
- 使用時にぶつかけたり、強い衝撃が加わったりしたときは必ず各部を点検し、異常を感じたら速やかに使用を中止してください。
- 本製品は次のような車両に使用することができません。
 - ・本製品の最低位（約250mm）より車体が低いもの
 - ・車体底部にアンダーガードが装着されているもの
 - ・車体フレーム底部が平行ではないもの
 - ・エンジンやパーツなどが車体フレームより出ているもの
 - ・車体フレームの幅が天板より大きいもの

2 各部の名称



①	ハンドル
②	天板
③	シリンダー
④	フレーム
⑤	ロック

最大耐荷重	150kg
最低位	250mm
最高位	430mm
天板サイズ	280×175mm

3 使いかた

操作を行うときは車両の補助も含め、必ず2名以上で作業を行ってください。

1. 固く平らで傾斜の無い場所で車両を垂直に保持する

- 車両底部に泥などが付着している場合は取除いてください。

2. 本製品を車両横からまっすぐ差込み、位置を合わせる

⚠ 警告

- リフトアップ・ダウンは必ず2人以上で行い、天板と車体の間には異物を挟まないでください。車両が不安定になり転倒するおそれがあり大変危険です。
- 天板の前後左右いずれかに偏った位置でリフトアップすると、車両が不安定になり転倒するおそれがあり大変危険です。車体が天板の安定する位置に調整してください。

3.車両を上げる：本製品のハンドル側に立ち、リフトアップの準備をする

- 車両のハンドルとシートレールをしっかりと握り、保持します。
- 天板を回転させると、車両に必要な高さまで調整することができます。(図1)

⚠ 警告

- 天板の高さを調整するときは、最高位(約430mm)以上の高さまで調整しないでください。リフトアップするときに天板が外れるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



4.ハンドルをゆっくりと踏込み、車両をリフトアップする(図2)

- 手で車両を持上げるように補助するとリフトアップしやすくなります。
- ハンドルは、しっかり最後まで踏込んでください。
- リフトアップ後は安全ロックをハンドルのピンに掛け、固定してください。(図3)
- リフトアップした車両が安定していることを確認して作業してください。

⚠ 警告

- 可動部、摺動部に手や指を入れないでください。けがをする原因になります。
- リフトアップ中は強い衝撃を与えないでください。転倒してけがをする原因になります。



5.車両を下げる：本製品のハンドル側に立ち、リフトダウンの準備をする

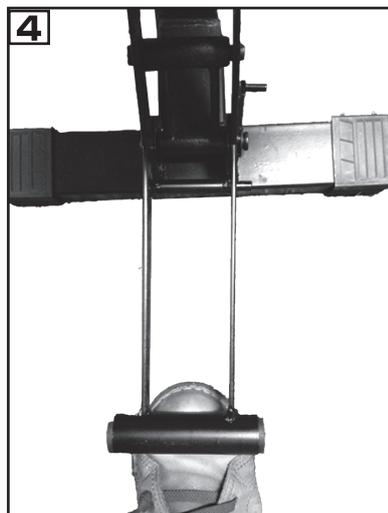
- 車両のハンドルとシートレールをしっかりと握り、保持します。

6.ハンドルをゆっくりと戻し、車両をリフトダウンする

- ハンドルを操作する前に安全ロックを外してください。
- 図4のようにハンドルの下に足を入れ、ゆっくりと上げて戻します。

⚠ 警告

- リフトダウンするときは、車両の重量が掛かり急激に下降します。操作を誤ると車両が倒れたり、体を挟んだりするなどして大変危険です。



■ 末長くご使用いただくためのご注意

- 定期的にシリンダー、天板、フレームなどの各部に損傷やゆがみ、破損がないか確認してください。異常がある場合は使用をしないでください。
- 可動部や摺動部には定期的にグリスを塗布し、正常に作動するかを確認してください。また、本体を水洗いしたときは、よく乾燥させたあと、必ず可動部や摺動部にグリスを塗布してください。
- 本製品を長期間保管するときは、ウエスなどでシリンダー、天板、フレームの汚れをきれいに拭取り、湿気やホコリのない乾燥した場所で保管してください。また、施錠のできる場所、子供が手の届かない場所に保管してください。